

2月17日に東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂にて市民公開講座「心不全ってどんな病気？心不全を知る、防ぐ、治す！」が開催されました

去る2013年2月17日、東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂にて心不全学会ならびに厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特発性心筋症に関する調査研究」班主催で心不全市民公開講座「心不全ってどんな病気？心不全を知る、防ぐ、治す！」が開催されました。

晴天ではあったものの、北風の強い寒い日の開催となりましたが、総勢282名の一般市民にご参加いただきました。予算の都合もあり、聴講者の募集も外来でのパンフレット配布、区民誌などの無料誌への掲載、周辺医療機関へのポスター配布に限られていましたが、会場内は7割方埋まり盛会でした。会場自体も2009年に竣工した26階建てビル内の新しい講堂で、御茶ノ水駅の駅前という地の利もあり、想定以上の聴講者に来ていただけたものと考えています。

講演は日本大学 平山教授、慶応大学 福田教授、国立循環器病研究センター 北風部長の三医師による講演の後に、患者の日常生活の注意点などの講演として北里大学の真茅看護師、栄養管理は玄々堂君津病院の西井管理栄養士からそれぞれご講演いただき、いずれも好評でした。講演後には演者に質問をする聴講者の方も多数おられ、心不全に対する一般市民の関心の高さを改めて認識いたしました。

演者の先生方のご協力もあり、講演はいずれも非常に分かり易く、聴講者の多くのアンケートも好意的な意見が多数寄せられました。一般市民の方に心不全を知っていただくという本講演会の目的は達成できたと考えておりますが、中には医学用語が多数用いられていたこと、真冬の講演会日時の設定などの理由で十分ご満足いただけなかった方もいらっしゃり、今後の市民公開講座運営にあたっては十分留意する必要があると感じました。

本会の開催にあたっては、学会予算・科研費等の問題から低予算での実施を余儀なくされたため、運営（特にスライド・音響など）の不安を払拭できないまま当日を迎えましたが、大きなトラブル無く執り行うことができました。受付、聴講者誘導等、多くの有志の方にお手伝いいただきましたこと、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

（文責 篠岡太郎、磯部光章）

